

第4章

文化芸術推進の各施策と取組

基本目標1 地域の特性を活かしたまちづくり

施策1

誰もが文化芸術を鑑賞し、または文化芸術活動に参加する機会の提供及び充実

市民一人ひとりが生きがいと心豊かな生活を送るため、身近な場所で多彩な文化芸術に触れる機会を提供します。また、ニーズの掘り起こしによる文化芸術の情報を発信できるよう情報収集に取り組みます。

現状と課題

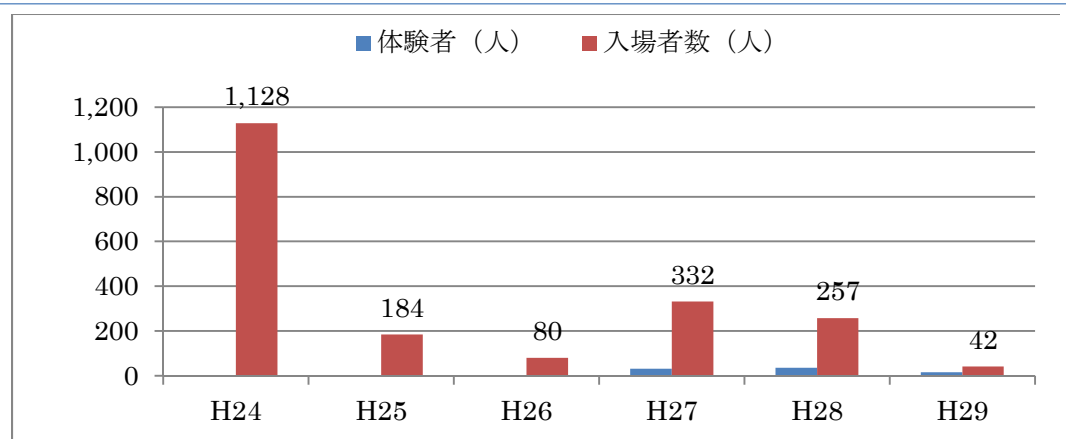
文化事業参加者・利用者アンケートでは、身近な施設で質の高い芸術に触れる機会が少なく、また、その機会があっても幅広く情報が入手しづらい（行き届いていない）との結果がありました。魅力的な文化プログラムを提供する機会が少なかったり、プログラムの魅力を最大限に生かす広報の工夫がなければ、実質的な提供につながっていない状況といえます。

実績の推移

文化芸術鑑賞事業

魅力的なプログラムを提供するため、これまで、多彩なジャンルの鑑賞事業を実施しましたが、開催時期・ジャンル・会場等により入場者数に差があります。また、情報発信の工夫等による影響もあると考えられます。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
場所	旧田中家住宅			リリア		
内容	漆芸展	津軽三味線	落語	生け花	生け花	民謡
入場者数（人）	1,128	184	80	332	257	42
体験者（人）	—			32	36	16



川口市美術展
(リリア・催し広場、
展示ホール)



青少年ピアノコンクール
(リリア・音楽ホール)

川口市文化祭
(リリア等)



主な取組

1-1-① 鑑賞事業や文化芸術を身近に接する機会の提供

市民の中には文化芸術を敷居の高いものととらえている人もいるのではないのでしょうか。そこで、市民の誰もが広く文化芸術に触れる機会を創出し、文化芸術のそれぞれの分野に偏ることなく、関心や興味を引き出せるようにします。例えば、無料で様々な音楽を聴く機会の提供や展覧会、ワークショップなどの体験的取組を実施します。

事業 1-1-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化芸術鑑賞事業	事業概要	市内在住等の文化芸術の活動者を講師として招き、小学生～高校生を対象に、伝統文化を中心に幅広い分野の文化芸術の体験型の芸術鑑賞を提供する。					継続
	改善の方向性	広報周知の拡大や市民参加型の事業とすることで、文化芸術に対する関心を引き出し、参加者及び観覧者を増やします。					取組状況 (実施中)
	36 人	32	34	36	38	40	指標 (参加者数)
市民コンサート事業	事業概要	身近な施設で、多様なジャンルの良質な生きた音楽に触れる機会を提供するためコンサートを実施する。					継続
	改善の方向性	広報周知の拡大に努め、様々な場において、多様なコンサートを行い入場者数を増やします。					取組状況 (実施中)
	87%	94	96	98	100	100	指標 (入場率)
映画祭関連事業	事業概要	世界各国からのデジタル映画の募集と顕彰を行う。活動サポートや市場参入のためのイベントを実施する。					継続
	改善の方向性	経済状況の悪化による入場者数、協賛企業の減少を防ぐため解消策を検討していきます。					取組状況 (検討中)
	58%	64	64	64	64	64	指標 (着席率)
アートギャラリー企画関係 (企画展・講座・ワークショップ)	事業概要	市民の美術に対する意識の高揚を図るため、展覧会、講演会、ワークショップ等を実施する。					継続
	改善の方向性	広報周知の拡大に努め、参加者や観覧者を増やします。					取組状況 (実施中)
	14,850 人	15,100	15,150	15,200	15,300	15,400	指標 (入場者数)
親子ふれあい事業 (親と子の音楽会)	事業概要	親子一緒に音楽に触れることにより、子どもの情操を養い、青少年の健全育成に望ましい家庭環境づくりを促進することを目的に合唱とオーケストラのコンサートを実施する。					継続
	改善の方向性	多くの子どもに鑑賞機会を提供するため、会場規模の見直し等を検討します。					取組状況 (実施中)
	547 人	540	540	540	540	540	指標 (来場者数)

事業 1-1-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
科学展示施設 運営事業	事業概要	多くの市民が科学に触れ学びを深める場として、サイエンスショーや身近な素材を用いたものづくり教室、各種講座等を開催し、科学への興味関心を高める。					継続
	改善の 方向性	事業内容の充実や広報周知に努めることにより、入場者数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	104,399 人	115,989	117,961	119,965	122,004	124,078	指標 (入場者・ 参加者数)
天文台施設 運営事業	事業概要	天文台施設を利用し、多くの市民に本物の天体を実際に観測・体験する機会を提供するため、夜間観測会や太陽観測実習等を実施する。					継続
	改善の 方向性	実施の可否は天候や時間に左右されることが多いが、解説による天文トピックスを取り入れ、貴重な体験の機会の充実を図ると共に参加者数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	2,695 人	2,742	2,789	2,836	2,885	2,934	指標 (参加者数)
プラネタリウム 施設運営事業	事業概要	プラネタリウムの機能を活用した自然に近い星空を観ながら、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び、天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。					継続
	改善の 方向性	多くの市民に天文の知識を深められる企画・立案を取り入れ、広報周知に努めると共に観覧者数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	34,293 人	37,209	37,842	38,485	39,139	39,804	指標 (観覧者数)
特別企画事業	事業概要	館独自の企画立案による手作りの特別展のほか、関連団体からの展示物の借用及びテーマに精通した業者への委託による特別展を実施する。					継続
	改善の 方向性	参加者のニーズに沿った事業内容の充実及び、広報周知に努めると共に入場者数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	26,304 人	30,413	30,930	31,456	31,991	32,535	指標 (入場者数)



科学展示室
(科学館)

プラネタリウム
(科学館)



企画展
(アートギャラリー)

文化芸術鑑賞事業



1-1-② ニーズの掘り起こしによる文化芸術の情報収集・発信の充実

世代や地域、生活様式の違いなどにより、市民の求める情報は千差万別です。現在、事業毎に実施する利用者アンケート調査を、市民のニーズを捉えることを目標とし、詳細に分析します。結果は、定期的に反映できるような仕組みをつくり、アンケートの利用価値を高めていきます。また、年齢や障害の有無、外国人であること等を理由とした情報弱者に対しても等しく必要な情報が得られるよう発信します。

市民意識調査では、「情報が少ない」という意見の他に「情報を得る手段がない」との意見も多くありました。これは、広報媒体として、広報かわぐちやチラシの配布、ポスターの掲示、ホームページの発信などを実施するものの、市民の意識下では「不十分」、「行き届いていない」ととらえる市民が多数いることを示しています。一方的な情報発信だけでなく、SNS^{注1}の活用など、新しい広報手段を研究し、実施します。

事業 1-1-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
情報収集 発信事業 (利用者 アンケート 調査)	事業概要	文化芸術イベント等におけるアンケート調査とともにCS(満足度)調査を実施し、事業の改善や計画の見直しに活用する。 					新規
	方向性	収集した統計情報から、詳細な分析を実施し、計画の見直しや事業の改善に反映できるよう検討します。					取組状況 (検討中)
	—	研究	分析	分析	実施	実施	指標 (-)
情報収集 発信事業 (アートギャラリー 事業運営)	事業概要	展覧会、講演会、講座、ワークショップ等の開催に伴う調査・研究を行う。また、美術及び館運営等に関する情報収集を行う。 					新規
	方向性	広報紙での周知のみならず、学校等との連携、新聞等のメディアやWEB等での広報活動を検討し、参加者の増加に努めます。					取組状況 (検討中)
	—	616箇所	616	616	616	616	指標 (配布箇所数)
情報収集 発信事業 (文化芸術 ニュース発行)	事業概要	市内における文化芸術活動の情報周知のため、年4回程度の文化芸術広報ニュースを発行する。 					新規
	方向性	ホームページや広報紙での周知により、公設・民間の設置箇所を増やすとともに、情報掲載希望者を増やします。					取組状況 (検討中)
	—	—	70箇所	75	80	85	指標 (設置箇所数)
情報収集 発信事業 (文化団体等 への情報発信)	事業概要	各委員会等において、団体への定期的な周知する機会を設ける。 					新規
	方向性	文化団体を登録制にし、双方向の情報のやり取りができるよう研究し、情報の送受信の仕組みを導入します。					取組状況 (検討中)
	—	研究	12回	12	24	24	指標 (送受信数)

注1 SNS (Social Networking Service) インターネットのネットワークを通じて、人と人をつなぎコミュニケーションが図れるように設計されたサービス

1-1-③ 文化芸術活動支援の充実

文化事業参加者・利用者アンケートでは、市民で何らかの文化芸術活動に参加している人は、約59%でした。文化芸術は、ゆとりと潤いをもたらし、その活動により、生きがいを持ち心豊かな生活を営むことができます。現在、文化芸術活動に対し、成果の発表の場を提供する支援や広報面での支援、活動に係る経費に対する直接的な助成などを実施しています。その他にも、広く研修の場を提供したり、第三者や他の団体との連携など、支援の方法は多岐にわたります。

一方で、行政の支援は、活動者の自主性・主体性を尊重したものであることが重要です。直接的な支援に加えて、間接的な支援を行うことが、より多くの市民の方の文化芸術の意識の向上に影響を与えることが可能となることから、安定的かつ継続的に支援を実施していきます。

事業 1-1-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化団体補助事業 (文化団体連合会・市民音楽協会)	事業概要	市内の文化芸術活動を担う団体への財政的な支援を行う。					
		補助金					継続
		団体員募集周知					新規
	改善の方向性	財政面での支援を維持しつつ、会員募集等の周知を実施します。					取組状況 (実施中)
	117 団体	124	126	128	128	128	指標 (文化団体連合会 加盟団体数)
	62 団体	62	62	62	62	62	指標 (市民音楽協会 加盟団体数)
文化芸術指導者活用事業	事業概要	豊富な技芸のある文化芸術団体の指導者を紹介し、部活動、授業等の教育活動の一環として活用する。					
							継続
	改善の方向性	学校との連携体制をつくり、紹介数を増やします。					取組状況 (実施中)
	1 回	4	5	6	7	8	指標 (紹介数)

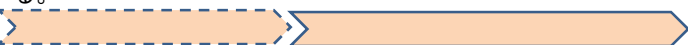
事業 1-1-③		H28	H31	H32	H33	H34	H35		
文化振興交付事業	実行委員会	事業概要	文化団体連合会及び市民音楽協会加入団体の成果の発表を主として実施する文化祭に対し、その運営の財政的支援を行う。						継続
		川口市文化祭							
		改善の方向性	各団体独自の広報のほか「川口市文化祭」全体の広報活動の強化を行います。						取組状況（実施中）
		9,408 人	9,600	9,800	10,000	10,000	10,000	指標（入場者数）	
		事業概要	小学生～高校生対象のピアノコンクールに対し、その運営の財政的支援を行う。						継続
		川口市青少年ピアノコンクール							
		改善の方向性	優秀者の記念コンサートを実施するなど人材育成に注力した見直しを行います。						取組状況（実施中）
		242 人	250	250	250	250	250	指標（出場者数）	
		事業概要	日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真の6部門の美術作品の公募展に対し、その運営の財政的支援を行う。						継続
		川口市美術展							
		改善の方向性	出品数及び観覧者数が増えるよう周知方法を見直します。会場の使用方法を改善し、観覧しやすいように検討します。						取組状況（実施中）
		475 点	480	485	490	495	500	指標（出品数）	
		4,740 人	4,800	4,900	5,000	5,100	5,200	指標（観覧者数）	
		事業概要	3年に1度、文化団体連合会加盟団体の成果を発表する芸術祭に対し財政的支援を行う。						継続
		芸術祭							
		改善の方向性	募集周知等により、文化団体連合会の会員数及び加盟団体数を増やし、芸術祭の参加団体を増やすことに努めます。						取組状況（実施中）
		16 団体（H27）	—	—	18	—	—	指標（参加団体数）	
		事業概要	川口独自の和太鼓コンクールに対し財政的支援を行う。						継続
		川口市初午太鼓コンクール							
		改善の方向性	太鼓の練習会場の確保のため、地域の和太鼓に対する理解と関心を引き上げる周知を支援します。						取組状況（実施中）
		55 団体	55	55	55	55	55	指標（参加団体数）	
	文化振興助成事業	事業概要	文化芸術団体が行う作品の展示・成果の発表や刊行物の発行に対し財政的支援を行う。						継続
		改善の方向性	市への申請数を維持しつつ、国県企業等の助成事業に申請できるよう団体を支援します。						取組状況（実施中）
		10 件	10+2	10+2	10+4	10+4	10+6	指標（市申請数+他団体申請数）	

1-1-④ 高齢者、障害者の文化芸術活動の促進

等しく誰もが、文化芸術に触れ、鑑賞し、参加する機会を創出するための環境整備は、ときに高齢者のためであり、障害者のためである必要があります。施設を建設するにあたって、ハード面でユニバーサルデザインの視点が必要のように、文化芸術には、ソフト面での対応が望まれているところです。

これまでは、誰もが参加できるという方針で執行されている事業であっても、それは主催者側の視点であることは否めません。真に、誰もが文化芸術活動に参加できる環境とするためには、高齢者や障害者等にも配慮した、きめ細かな対応が必要です。今後は、日頃の活動に積極的に高齢者や障害者等が参加できる仕組みをつくり、成果を発表する場を創設するなど、より一歩踏み込んだ事業展開を実施します。

事業 1-1-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
特別支援学級 合同作品展 事業	事業概要	市立の小中学校に設置する特別支援学級在籍の児童生徒の学習の成果物を作品展示する。					継続
	改善の 方向性	特別支援学級設置学校長会議等で充実した展示会場の確保や適切な周知について支援します。					取組状況 (実施中)
	27 校	31	31	31	31	31	指標 (参加学校数)
	2,130 人	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	指標 (来場者数)
アート ギャラリー 事業運営 (障害者対象)	事業概要	貸しギャラリーの利用において障害者福祉作業所における作品を展示できるよう支援する。					新規
	方向性	市民が成果を公表する市民ギャラリーの利用に偏りや未利用が無いよう周知広報を工夫します。					取組状況 (検討中)
	-	検討	検討	1 回	1	1	指標 (開催数)
盛人大学事業	事業概要	50 歳以上のかたを対象に交流と地域活動の機会を提供し、社会教養コースにおいては、文化や芸術に親しみ、知識を活かすことで卒業後の社会貢献活動の活性化を図る。					継続
	改善の 方向性	公開講座の実施や広報活動により市民への周知・浸透を図るとともに、社会貢献団体などと連携しながら講座内容の充実を図ります。					取組状況 (実施中)
	295 人	300	300	300	300	300	指標 (受講者数)
地域活動 支援センター 施設運営	事業概要	社会適用訓練の一環として在籍する利用者が創作活動（陶芸・組紐・書道講座等）を行い、その作品を市民に向け発表する。					継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知などの実施方法について検討を重ねていきます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)

事業 1-1-④		H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化芸術活動 参加促進事業 (高齢者対象)	事業概要	文化団体連合会と連携し、加入を促進する初心者教室を開催する。 						新規
	方向性	身近な施設で文化芸術に触れる機会を増やすとともに、生きがいにつながるきっかけ作りとして定年退職した方が、地域での活動を開始する機会を提供します。						取組状況 (検討中)
	-	試行	試行	実施	実施	実施	指標 (-)	
文化芸術活動 参加促進事業 (障害者対象)	事業概要	共催事業として、ミニギャラリーで障害者福祉作業所のアート作品を展示する。 						新規
	方向性	施設内外での文化芸術に係る成果を公表する機会を創出します。発表の場の周知を拡大します。(本庁舎建替のため小規模実施を検討)						取組状況 (検討中)
	-	20 点	検討	検討	検討	検討	指標 (出品数)	
文化芸術活動 参加促進事業 (多言語対応)	事業概要	外国人に対し、芸術鑑賞事業・市民コンサート事業等の既存のイベントに参加を促進する。 						新規
	方向性	担当関連部署との協力により、共同事業として研究します。						取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	検討	検討	実施	指標 (-)	



特別支援学級合同作品展
(アートギャラリー)



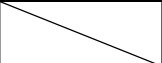
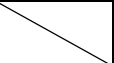
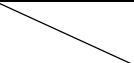
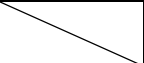
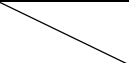
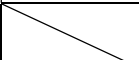
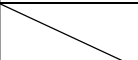
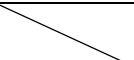
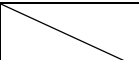
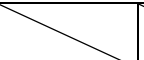
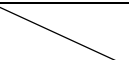
地域活動支援センター

1-1-⑤ 文化芸術活動の場及び発表の場の提供

文化芸術活動に励んでいる方は、文化事業参加者・利用者アンケート結果によるとその成果を発表する場や鍛錬する場の確保に苦慮されていることがわかります。練習用の広い場所や防音設備が整っている場所が必要であったり、また、時間的制約がある中で、誰もが活動の質を高めるよう努力されています。

一方、ライフスタイルが変化し、多様化する市民生活の中で、文化活動に対する意識の差も生じています。こうした状況の中で、活動や発表の場となる各施設の運営者として、使用者と協力し、豊かな文化芸術活動に貢献できる場を作り上げるよう努めていきます。

事業 1-1-⑤	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
アート ギャラリー 事業運営 (貸館事業)	事業概要	アートギャラリー展示室 A、展示室 B、スタジオの貸出しを行う。					継続
	改善の 方向性	広報活動を工夫して、より広く市民へ周知を図っていきます。					取組状況 (実施中)
	7,004 人	7,100	7,100	7,200	7,200	7,200	指標 (利用者数)
川口総合 文化センター 指定管理	事業概要	指定管理者により、ホール・スタジオ等の施設の貸出しを行うとともに、地域に対する文化芸術の振興を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者のニーズに対応できるよう、適切な事業運営を行います。					取組状況 (実施中)
	77.2%	87.0	90.0	93.0	96.0	100	指標 (貸館利用率)
公民館 施設運営	事業概要	公民館の利用団体における文化芸術活動の発表の場として、館の文化祭を実施する。					継続
	改善の 方向性	地域住民の教養・学習意欲の向上を図る地域コミュニティの拠点として機能するよう努めます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)
文化会館 施設運営	事業概要	文化芸術活動の発表の場や練習の場として提供する。					継続
	改善の 方向性	市民の音楽・演劇・舞踊等の練習の場及び作品展示ホールとして活用してもらえよう利用団体への周知活動を拡大します。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)

事業 1-1-⑤	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
ミニギャラリー 貸出事業	事業概要	本庁舎 1 階ロビーのミニギャラリーを文化芸術活動の発表の場として提供する。(平成 31 年度以降は本庁舎建替えのため小規模実施を検討)					継続
							
	改善の 方向性	本庁舎が使用できない間の代替の場所を検討していきます。					取組状況 (実施中)
	82%	88	検討	検討	検討	検討	指標 (利用率)
鳩ヶ谷駅 市民センター (貸館事業)	事業概要	文化芸術活動の発表や練習の場として提供する。					継続
							
	改善の 方向性	文化芸術活動の促進に向けて利用拡大の周知を図ります。					取組状況 (実施中)
	62%	62	62	65	65	65	指標 (利用率)
ふれあい プラザさくら (貸館事業)	事業概要	文化芸術活動の発表や練習の場として提供する。					継続
							
	改善の 方向性	文化芸術活動の促進に向けて利用拡大の周知を図ります。					取組状況 (実施中)
	59%	59	59	62	62	62	指標 (利用率)
芝市民ホール (貸館事業)	事業概要	市民の文化芸術活動の発表の場として提供する。					継続
							
	改善の 方向性	市民の音楽・演劇・舞踊等の発表の場及び地域コミュニティの場として活用してもらえるような周知をします。					取組状況 (実施中)
	35.8%						指標 (利用率)
芝支所 展示コーナー (貸出事業)	事業概要	市民の文化芸術活動の発表の場として提供する。					継続
							
	改善の 方向性	地域コミュニティの作品展示の場として活用してもらえるよう周知をします。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)



ミニギャラリー
(市役所・本庁舎)

基本目標1 地域の特性を活かしたまちづくり

施策2

地域に根ざした文化芸術を活用したまちづくりの推進

市民・企業・行政が三位一体となって文化芸術を支援する仕組みづくりを確立し、文化芸術でうるおいのある豊かなまちづくりを推進する牽引力を創出します。

現状と課題

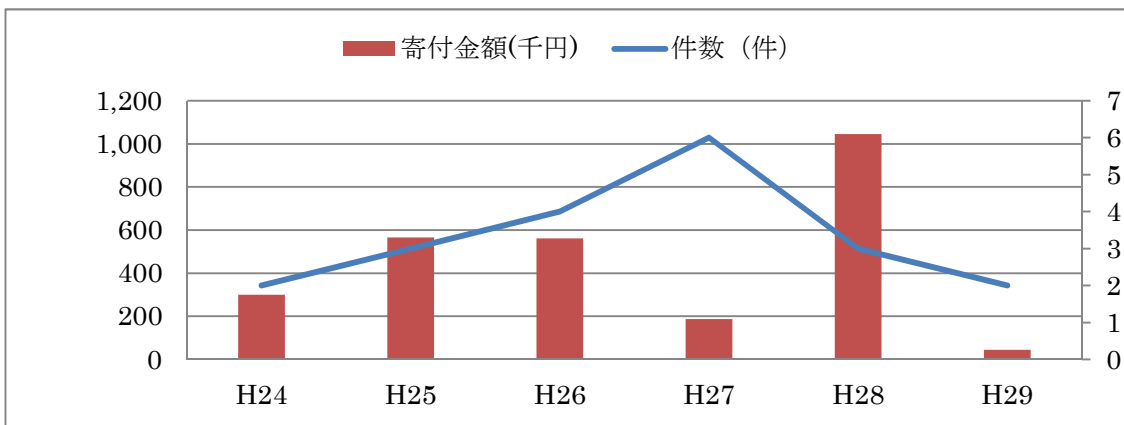
本市では、安行の植木や鋳物産業を中心とした製造業が盛んであり、「ものづくりのまち」として発展してきました。それらの産業とともに、市民には、文化芸術の礎が育まれています。一方、全国的には、大企業の社会貢献の一環として、文化芸術活動を助成する仕組みが増えていきます。また、音楽や演劇・舞踊などは、商業芸術として発展してきており、それらの企業には、芸能の継承のため、地域における市民との協働を試みる団体もあります。本市においても、地域に根ざした文化芸術を企業として支援とする試みが築かれ始めています。

実績の推移

文化振興基金事業

心豊かな、うるおいのある地域社会の創造に寄与するため、これまで、市民の皆様や企業からの寄付と市の出資金を財源に運営してきましたが、年度によって寄付金額の変動が大きいことから、今後、市の文化芸術活動がより一層活発に推進されるよう、安定した寄付を募るための対策を検討しなければなりません。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数(件)	2	3	4	6	3	2
寄付金額(千円)	300	566	562	187	1,045	45





旧田中家住宅



木曾呂の富士塚



 主な取組

1-2-① 市民・企業との協働

「川口市文化芸術振興条例」の中で、市の役割は、「本市の特性を考慮し、文化芸術の振興に関し、必要に応じて体制の整備を図り、総合的に推進するものとする」と示されています。また、市民の理解と交流として、文化芸術の活動を行うことを通じ、「相互に理解し、尊重し、交流を深める」ことに努めるとされています。文化芸術活動を自主的に実施することは、基本理念においても定められていますが、その自主性こそが、創造性豊かな活動の源になるものと考えます。

さらに、「文化芸術基本法」では、文化芸術団体の役割として、「文化芸術活動の充実を図るとともに、文化芸術の継承、発展及び創造に積極的な役割を果たす」ことが掲げられており、また、関係者は、「相互に連携を計りながら協働するよう」努めるものとされています。

関係者とは、国・県・市等の行政のほか、活動団体・個人・民間企業者も含まれるものです。つまり、文化芸術の振興には、その役割をそれぞれが認識し、相互の交流・連携を進めることが第一歩になるといえるでしょう。

企業の視点からみれば、文化芸術活動への支援は、社会貢献の一環として企業のイメージアップにつながるだけでなく、経営的戦略につながるメリットがあります。一方、市民や活動団体も、企業の応援のもと地域に根ざした活動を進められることがメリットとして享受できます。

加えて、鋳物や植木、織物、和竿等を中心とした「ものづくりのまち」として発展してきた本市は、その魅力をつくりあげてきた地域の歴史や文化・芸術と産業とを切り離して考えることはできません。さまざまな地域資源や歴史ある産業を生かし、アートの視点で観光や魅力あるまちづくりにつなげられるよう、企業との協働を研究します。

事業 1-2-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
市民との協働	事業概要	文化芸術に係る団体と地域の自治団体との橋渡し役としてコンシェルジュ事業を実施する。 					新規
	方向性	文化芸術に係る団体だけでなく、個人にも還元できるような仕組みを検討し、情報発信ができるよう連携します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	検討	実施	実施	指標 (-)
企業との協働	事業概要	財政的支援を実施する企業からの斡旋・企業への斡旋等を行う。 					新規
	方向性	公平性や公益性を確保しつつ、企業からの支援や助成が広く活用できるよう情報発信の手法を工夫します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	検討	実施	実施	実施	指標 (-)

事業1-2-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
社会教育活動 運営事業	事業概要	社会教育関係委員会及び公民館運営審議会等を開催し事業内容を審議する。					継続
	改善の 方向性	委員を通じ、市民の意見が反映できるように継続して実施していきます。					取組状況 (実施中)
	37回	36	36	36	36	36	指標 (審議会 等回数)
観光事業 (川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり)	事業概要	日光御成道で結ばれた川口宿、鳩ヶ谷宿を舞台に、日光社参行列の再現等を行うイベントを4年に1度、開催する。参加者を募集し、市民と共に楽しめるイベントである。					継続
	改善の 方向性	日光御成道の川口宿・鳩ヶ谷宿周辺の商店街活性化や観光スポットのPR活動を各関係団体と連携して進めていきます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)
文化振興 基金事業	事業概要	文化芸術団体の活動を助成する文化振興助成事業の財源となる市民や企業・団体等からの寄付金(文化振興基金)を募集する。					継続
	改善の 方向性	活動者と寄付者の双方にメリットが享受できるよう研究し、寄付金が増えるよう、基金の広報周知を工夫します。					取組状況 (実施中)
	3件	3	3	4	4	5	指標 (件数)
	1,045,000円	300,000	300,000	400,000	400,000	500,000	指標 (寄付金額)
地域産業 連携事業	事業概要	アートギャラリー等において歴史あるものづくりの地域産業資源をアートの視点から解釈し、鑑賞、参加体験、情報発信の機会を創出する。					継続
	改善の 方向性	川口市の誇る産業と芸術の連携を重ね、観光やブランド力向上に活力していきます。					取組状況 (実施中)
	-	研究	実施	実施	実施	実施	指標 (件数)



川口宿 鳩ヶ谷宿
日光御成道まつり

1-2-② 歴史的文化遺産の有効活用

本市には、長い歴史の中で育まれてきた、本市固有の有形無形の文化財があり、歴史的に価値のある文化遺産として認識され守られてきました。これらは市の貴重な財産であるとともに、市民の誇りであり、市への愛着をもたらすものでもあります。特に、国登録有形文化財である旧田中家住宅は、煉瓦造の本格的洋風建築と和館が並立する建築物であり、これまでに、コンサートや茶会、美術作品の展覧会場として活用されており、多様な市独自の文化芸術活動の発表に応えることが可能な文化遺産です。国は文化財保護法の改正の中で地域における文化財の観光資源としての積極的な利活用を進めています。本市においても、より一層の活用に努めます。

さらに、今後の利活用においては、市民の熱意ある活動に対応できるよう、市の様々な事業との連携を図るほか、地域の企業との協力体制を整えることにより、新たな視点を加え実施します。

事業 1-2-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
歴史的建造物 施設運営事業	事業概要	国登録有形文化財である旧田中家住宅の保存・活用を行う。					継続
	改善の 方向性	文化芸術活動の発信の場としての活用を通じ、文化財的価値の理解と関心を高く引き出します。					取組状況 (実施中)
	7,065 人	6,500	7,000	7,500	8,200	9,000	指標 (来館者数)
無形民俗文化財の利活用	事業概要	無形民俗文化財の発表の場に対し広報の支援をする。					新規
	方向性	市民が愛着をもてる文化イベントを開催し、文化財保護の意識の向上を図ります。					取組状況 (検討中)
	-	検討	検討	検討	検討	1 回	指標 (イベント 開催数)
観光事業 (川口宿 鳩ヶ谷宿 日光御成道まつり) 【再掲】 →1-2-①	事業概要	日光御成道で結ばれた川口宿、鳩ヶ谷宿を舞台に、日光社参行列の再現等を行うイベントを4年に1度、開催する。参加者を募集し、市民と共に楽しめるイベントである。					継続
	改善の 方向性	日光御成道の川口宿・鳩ヶ谷宿周辺の商店街活性化や観光スポットのPR活動を各関係団体と連携して進めていきます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)
史跡等 管理事業	事業概要	国指定重要有形民俗文化財「木曾呂の富士塚」及び県指定旧跡「赤山城跡」保存整備事業区域内における保存・活用を行う。					継続
	方向性	国指定重要有形民俗文化財「木曾呂の富士塚」及び県指定旧跡「赤山城跡」の文化財的価値の理解と関心を高く引き出します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	研究	検討	検討	指標 (PR 方法 等検討)

1-2-③ 歴史的文化遺産等の情報発信の充実

歴史上・学術上高い価値がある、本市所有の文化遺産は、それぞれ調査・記録・保護・保存の必要があります。これらの文化遺産は、本市の観光振興に欠かせない柱の一つであり、地域経済の活性化につながるものでもあります。

文化遺産は、市だけでなく、市民や企業が連携して活用できるようにするためにも、その魅力の再認識・再発見となるよう、情報を集約し発信していく仕組みを作ります。

特に、次世代を担う若年層で構成された団体や市民の方にも興味関心を引きだすため、SNS等を活用した仕組みを作り、1-1-②の事業とともに、高い頻度の更新による、新鮮な情報の発信に取り組みます。

さらに、郷土食は地域に受け継がれてきた食文化^{注1}であり、新たな可能性を秘めた資源でもあります。今後は新たな視点から文化的資源の活用の一助になるよう情報の提供を工夫します。

事業 1-2-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
情報収集 発信事業 (発信の 仕組み作り)	事業概要	歴史的文化遺産への関心が高い方たちの情報受信手段を研究し、その仕組みを分析する。 					新規
	方向性	誰もが気軽に情報を得られる仕組みをつくります。 他の文化遺産の情報発信の好事例を研究します。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	仕組み づくり	集約・ 発信	集約・ 発信	指標 (-)
情報収集 発信事業 (情報発信 の拡大)	事業概要	ポスター掲示・チラシ配布・ホームページ掲載等の既存の広報手段を実施する。 					新規
	方向性	情報弱者を生みださないよう発信方法を工夫します。 既存の広報手段を継続しながらも拡大できるよう見直します。					取組状況 (検討中)
							指標 (-)
川口市の 郷土食等に 関する 情報提供	事業概要	ホームページ等で川口市の郷土食や食に関する取り組みについて情報提供を行う。 					継続
	改善の 方向性	川口市に伝わる郷土食や食文化が魅力あるものとして継承されるよう情報提供を工夫します。					取組状況 (実施中)
	-				計画改定 ^{注2}		指標 (-)

注1 食文化：国の文化芸術基本法（平成29年改正）の基本的施策に新たに追加された分野

注2 計画：川口市食育推進計画（第2次）

基本目標2 文化芸術を支える人材の育成及び支援

施策3

文化芸術活動を担う者及び次代の担い手の育成及び支援

次世代を担う子どもや青少年の豊かな創造性と感性を育むための文化芸術活動の環境整備を進めます。また、文化芸術を継承し、創造していく担い手として、若手芸術家を支援します。

現状と課題

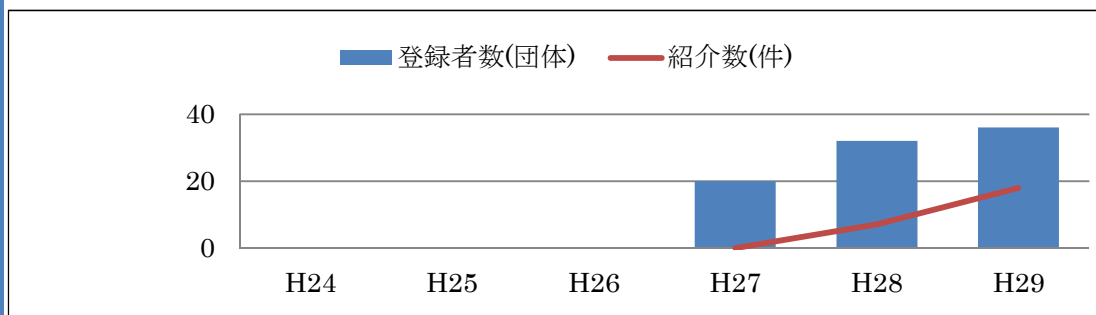
子どもの成長や学習に情操教育として文化芸術活動が有意義であると感じている保護者は少なくありません。しかしながら、成長する段階の折々で、文化芸術の活動をやめてしまうことも多い状況にあります。それは、学校での部活動を終えたとき、音楽・絵画・造形教室などの習い事をやめたとき、大学受験のとき、就職活動のとき、などさまざまな場面で遭遇します。活動の時期が限定されるのも、日本社会特有の傾向といえます。そのため、次世代の担い手が育ちにくく、文化芸術活動の再開が、定年退職後になることが多々あります。若年層の世代、またその親の世代の活動への支援は早急に対応しなければならない状況です。

実績の推移

アーティスト発掘支援事業

市内ゆかりの音楽活動者に発表の場を提供し活動の幅を増やしてもらうために平成27年度から実施しています。まだ、紹介数が少ない状況であり、段階的に紹介数を増やせるよう広報活動の工夫、企業や団体主催のイベントへの派遣などを検討する必要があります。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
登録者数(団体)	—	—	—	20	32	36
紹介数(件)	—	—	—	0	7	18





親と子の音楽会
(リリア・音楽ホール)



放課後子供教室



アーティスト発掘支援

 主な取組

2-3-① 文化芸術活動を支える担い手の育成・支援

文化芸術活動を通じて培われた地域のコミュニティは、市民の地域への関心が増すとともに、まちづくりに関心を持つようになるばかりでなく、愛着心を育てることにもつながります。そのため、文化芸術の振興には、青少年の頃から継続的に関わるのが重要です。これにより、より豊かで魅力的なまちづくりの実現につながるものと考えられ、企業・NPOや学校等との連携により、文化芸術活動を支える担い手を育成することが鍵となります。

そこで、まずは文化芸術活動に携わる人への支援、そして次世代を担う子どもたちを対象とした育成や文化芸術活動に係る市内学校児童・生徒の財政面などの負担が軽減されるよう支援を実施します。

事業 2-3-①		H28	H31	H32	H33	H34	H35		
人材バンク 事業	事業概要	生涯学習に関する資格・技術や経験を有し、学習活動の支援に意欲を持った市民を「人材バンク」に登録し、生涯学習活動に対する指導者として紹介する。							
								継続	
	改善の方向性	様々な活動で人材の活用が図られるように、周知に努めます。						取組状況 (実施中)	
	200 人	200	200	200	200	200	200	指標 (登録者数)	
文化振興 交付事業	青少年 ピアノ コンクール 【再掲】 →1-1-③	事業概要	小学生～高校生対象のピアノコンクールに対し、その運営の財政的支援を行う。						
									継続
		改善の方向性	優秀者の記念コンサートを実施するなど人材育成に注力した見直しを行います。						取組状況 (実施中)
	242 人	250	250	250	250	250	250	指標 (出場者数)	
	初午太鼓 コンクール 【再掲】 →1-1-③	事業概要	川口独自の和太鼓コンクールに対し、その運営の財政的支援を行う。						
									継続
改善の方向性		太鼓の練習会場の確保のため、地域の和太鼓に対する理解と関心を引き上げる周知を支援します。						取組状況 (実施中)	
	55 チーム	55	55	55	55	55	55	指標 (参加団体数)	

事業 2-3-①		H28	H31	H32	H33	H34	H35	
歴史自然 資料館 活用事業	事業概要	市内の文化芸術団体の方を講師とし、歴史自然資料館の特性を生かした多彩なジャンルの講座・ワークショップ等を実施する。						新規
	方向性	多彩なジャンルに興味を持ってもらうため、実施内容を検討します。						取組状況 (検討中)
	—	3回	3	3	3	3		指標 (イベント 開催数)
青少年団体 活動支援事業 (青少年団体 活動助成金)	事業概要	川口市青少年団体連絡協議会加盟の文化団体及び川口市図画コンクール実行委員会に対する助成金の交付を行う。						継続
	改善の 方向性	助成事業の効果測定の方法について検討します。						取組状況 (実施中)
	5件	6	6	6	6	6		指標 (助成金 交付件数)
特別支援学級 合同作品展 事業 【再掲】 →1-1-④	事業概要	市立の小中学校に設置する特別支援学級在籍の児童生徒の学習の成果物を作品展示する。						継続
	改善の 方向性	特別支援学級設置学校長会議等で充実した展示会場の確保や適切な周知について検討します。						取組状況 (実施中)
	27校	31	31	31	31	31		指標 (参加学校数)
	2,130人	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300		指標 (来場者数)
アート ギャラリー 事業運営 (共催展)	事業概要	市内小・中・高校の硬筆・書き初め・図工・美術品などの優秀作品などを一堂に展示する。						継続
	改善の 方向性	共催展の開催が児童生徒たちの文化芸術活動の励みとなるよう工夫します。						取組状況 (実施中)
	17,075人	17,300	17,400	17,500	17,600	17,700		指標 (共催展の 入場者数)
活動助成金等	各種競技会 選手等 派遣費 補助金	事業概要	市立学校の代表として関東・全国大会・コンクール等に選手を派遣した場合に補助金を交付する。					継続
		改善の 方向性	生徒の文化・芸術活動を充実・進展させるよう支援に努めます。					取組状況 (実施中)
								指標 (-)
	総合 文化祭等 派遣交付金	事業概要	県の代表として、市立高校が関東・全国大会・コンクール等に選手を派遣した場合に補助金を交付する。					継続
		改善の 方向性	生徒の文化・芸術活動を充実・進展させるよう支援に努めます。					取組状況 (実施中)
								指標 (-)

第4章 文化芸術推進の各施策と取組

事業 2-3-①		H28	H31	H32	H33	H34	H35	
鼓笛隊活動費助成金	事業概要	予算の範囲内で、鼓笛隊活動を行う市立小学校に対し、助成金を交付する。						継続
	改善の方向性	児童の鼓笛隊活動を充実・進展させるよう支援に努めます。						取組状況(実施中)
								指標(-)
プラスバンド活動費助成金	事業概要	予算の範囲内で、プラスバンド活動を行う市立小学校に対し、助成金を交付する。						継続
	改善の方向性	児童のプラスバンド活動を充実・進展させるよう支援に努めます。						取組状況(実施中)
								指標(-)
部活動等助成金	事業概要	予算の範囲内で、部活動、プラスバンド活動、必修外クラブ活動を行う市立中学校・高校に対し、助成金を交付する。						継続
	改善の方向性	生徒の文化・芸術活動を充実・進展させるよう支援に努めます。						取組状況(実施中)
								指標(-)

初午太鼓コンクール (リリア・メインホール)



人材バンク「魅学」

人材バンク「魅学」とは

本市が独自に創出した「魅学」は、本市の教育・文化・芸術分野の発展を促進するため、市内の教育・文化・芸術関係者や市民が、人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。

ご利用方法

下記の表の通り、人材バンク「魅学」は、市内の教育・文化・芸術関係者や市民が、人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。

分野	人材バンク「魅学」	人材バンク「魅学」
(1) 教育	市内の教育関係者や市民が、人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。	(1) 教育
(2) 文化	市内の文化関係者や市民が、人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。	(2) 文化
(3) 芸術	市内の芸術関係者や市民が、人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。	(3) 芸術
(4) その他	市内のその他の関係者や市民が、人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。	(4) その他

「人材バンク「魅学」」は、市内の教育・文化・芸術関係者や市民が、人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。

お問い合わせ

生涯学習課

TEL: 048-259-7655 (直通)

FAX: 048-259-7604

「魅学」に活用したい方へ

人材バンク「魅学」を通じて、互いに協力し、人材の活用を図ることを目的としています。

人材バンク事業

2-3-② 若手芸術家の支援

本市における文化芸術の創造と継承には、次世代の文化芸術活動の振興を牽引していく存在となる、市内外の若手芸術家を育成することが重要です。

そこで、若手芸術家へ発表の場を提供し、支援することで育成に努めていきます。

事業 2-3-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
アーティスト 発掘支援制度	事業概要	分野を問わず、市内ゆかりの音楽活動者を登録する制度により、若手活動者に演奏機会を提供するため、イベント等主催者に対し斡旋する。					継続
	改善の 方向性	周知の工夫・拡大により登録数及びマッチング数を増やします。					取組状況 (実施中)
	年7回	8	9	10	11	12	指標 (紹介数)
アート ギャラリー 企画運営 (新鋭作家展 ・公募作品展)	事業概要	文化芸術の振興と新鋭作家の発掘・育成を目的として公募を行い、二次審査に提出されたプレゼンテーションを展示（公募作品展）するほか、その公募作品展優秀者2名に対し1年をかけて、創作・発表する機会を創出する。					継続
	改善の 方向性	展示の方法・審査方法を見直し、市内外から広く応募があるように公募展の魅力等を周知します。					取組状況 (実施中)
	81人	82	83	84	85	86	指標 (公募者数)
文化芸術地域 活動支援事業	事業概要	地域への文化芸術に対する貢献を進める団体等に対して、国や県、企業等の助成事業の案内を推進する。					新規
	方向性	周知方法を工夫して、団体への支援に努めます。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	検討	検討	検討	指標 (-)



公募作品展
(アートギャラリー)

2-3-③ 青少年等の文化芸術に触れる機会の充実

文化芸術がもたらす心豊かな感動は、子どもの情操を養う上で、深く影響するものです。芸術鑑賞事業の感想を抽出したところ、児童も保護者も「初めての体験が新鮮で楽しめた」というような意見が出ています。

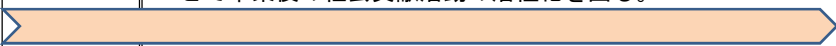
このように、鑑賞するだけでなく、体験し実感させることが、その文化芸術への関心を深めることから、青少年等に対し、興味を引き出し、感動を呼び覚ますような事業を実施します。

事業 2-3-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
映像関連 普及事業	事業概要	映像制作スキルの高い人材育成を目的に、小学生に CG 画像制作を体験させる。					継続
	改善の 方向性	CG 画像制作体験を通じ、映像産業を核とした映像メディア文化の 人材育成を狙い、事業の充実を検討します。					取組状況 (実施中)
	100%	100	100	100	100	100	指標 (参加率)
親子ふれあい 事業 (親と子の 音楽会) 【再掲】 →1-1-①	事業概要	親子一緒に音楽に触れることにより、子どもの情操を養い、 青少年の健全育成に望ましい家庭環境づくりを促進すること を目的に合唱とオーケストラのコンサートを実施する。					継続
	改善の 方向性	多くの子どもに鑑賞機会を提供するため、会場規模の見直し 等を検討します。					取組状況 (実施中)
	547 人	540	540	540	540	540	指標 (来場者数)
文化芸術 鑑賞事業 【再掲】 →1-1-①	事業概要	市内在住等の文化芸術の活動者を講師として招き、小学生～ 高校生を対象に、伝統文化を中心に幅広い分野の文化芸術の 体験型の芸術鑑賞を提供する。					継続
	改善の 方向性	対象年齢の拡大を検討し、周知の工夫に努め、参加者及び観 覧者を増やします。					取組状況 (実施中)
	36 人	32	34	36	38	40	指標 (参加者数)
放課後子供 教室推進事業 (文化芸術関連)	事業概要	市内の小学校に通う児童を対象に、放課後等に子どもたちが 安全安心に活動できる場所を設け、学習活動に加え、集団あ そびやスポーツ等を通じて子どもたちが健やかに育まれる環 境を作る。こうした活動の中で、文化芸術等に触れる機会も 提供している。					継続
	改善の 方向性						取組状況 (実施中)
							指標 (-)

2-3-④ 地域の文化芸術を支える人材の育成

近年、市内の文化芸術の指導者や活動団体の構成員の高齢化が進んでいます。定年退職後の趣味や生きがいとして、文化芸術活動を開始することは心豊かな生活を送るうえでの選択肢の一つですが、現役世代から地域で文化芸術を始めの人にスポットを当てることは、高齢化の課題を解決する手立てとなると考えます。

そのために、文化芸術に関する分野においても生涯にわたって学ぶ姿勢を保ち、学んだ結果について社会へ還元する喜びが得られるように、地域での活動を主体的に支える人材を育成するための支援を実施します。

事業 2-3-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化団体 連合会 助成事業 (次世代 育成支援)	事業概要	川口市文化団体連合会が行う、新たな団員取得のため実施する取り組みにおいて、働き世代へ向けたアプローチを支援します。 					新規
	方向性	働き世代を対象とするため、広報方法やチラシの配布等に対し支援します。					取組状況 (検討中)
	-	検討	検討	検討	実施	実施	指標 (-)
市民大学事業 (文化芸術 関連)	事業概要	市内外の短大・大学等や公民館などの社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等をテーマとした講座を開催する。 					継続
	改善の 方向性	講座の開催日時を工夫し、講座内容を充実させます。					取組状況 (実施中)
	52 日	52	52	52	52	52	指標 (文化芸術 関連講座延べ 開催日数)
	1,856 人	1,860	1,860	1,860	1,860	1,860	指標 (文化芸術関 連講座延べ 参加者数)
盛人大学事業 【再掲】 →1-1-④	事業概要	50 歳以上のかたを対象に交流と地域活動の機会を提供する。社会教養コースにおいては、文化や芸術に親しみ、知識を活かすことで卒業後の社会貢献活動の活性化を図る。 					継続
	改善の 方向性	公開講座の実施や広報活動により市民への周知・浸透を図るとともに、社会貢献団体などと連携しながら講座内容の充実を図ります。					取組状況 (実施中)
	295 人	300	300	300	300	300	指標 (受講者数)

基本目標 2 文化芸術を支える人材の育成及び支援

施策 4

文化芸術活動の継承及び保護の推進

本市には、長い歴史や風土の中で育まれてきた固有の伝統文化が数多く残されています。少子高齢化が進む中、この貴重な伝統文化を将来にわたって継承していくため、後継者の育成・支援を行っていきます。また、伝統文化のすそ野を広げ、理解を深める取組を行っていきます。本市が有する文化資源や人材の魅力を再発見し、新たな魅力を発信するため、関係団体や個人が連携して取り組む仕組みづくりを行っていきます。

現状と課題

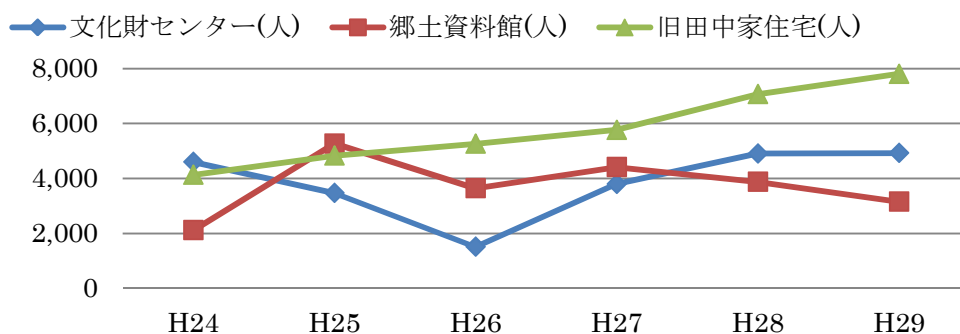
本市には、「旧田中家住宅」などの有形文化財、「木曽呂の富士塚」などの有形民俗文化財、「安行藤八の獅子舞」などの無形民俗文化財など、指定文化財が数多く現存しています。しかし、本市は都内からのアクセスが優れている立地により転入者が多く、本市の伝統文化が知れ渡っていないのが現状です。今後、この伝統文化をどのように浸透させていくかが継承への課題となります。

実績の推移

文化財施設入場者数推移

市内には、現在、文化財施設として以下の3施設があります。より多くの方に、川口市が有する伝統文化の保存・継承を行う施設に来館してもらうことで、市の魅力を再認識してもらうよう努めます。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
文化財センター(人)	4,597	3,469	1,512	3,797	4,903	4,925
郷土資料館(人)	2,114	5,264	3,641	4,413	3,874	3,150
旧田中家住宅(人)	4,128	4,832	5,260	5,766	7,065	7,807



主な取組

2-4-① 関係団体等との連携強化

本市には、「領家の囃子と神楽」、「安行原の蛇造り」、「川口の木遣」、「八幡木ばやし」、「江戸袋の獅子舞」、「安行藤八の獅子舞」のような指定無形民俗文化財として保護された郷土芸能・民俗行事があります。それらは伝統芸能として、地域の人々が保存会を結成し、保存と継承を行っています。

新たな魅力を再発見するため、関係団体との連携を強化し、後継者の育成事業に取り組みます。また、保存に対する市民の関心を引き出すために、公演の周知の拡充や実演の機会の提供などを実施します。

事業 2-4-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
その他文化財 保護費	事業概要	指定文化財維持管理費、無形民俗文化財保存継承費、文化財保存事業費補助金の交付を行い、指定文化財の保護・活用を行う。					継続
	改善の 方向性	補助金交付者の指定文化財を維持管理するうえでの課題を把握し、指定文化財を後世に伝えていくため適切に支援できるように計画します。					
							指標 (-)
郷土芸能 保存支援事業	事業概要	郷土芸能保存会が行う保存活動を支援するため、広報や支援策等を検討していく。					新規
	方向性	郷土芸能保存会との協力を努めます。					取組状況 (検討中)
	-	研究	研究	検討	検討	検討	指標 (-)



江戸袋の獅子舞

川口の木遣



2-4-② 伝統文化の保存・継承

これまで、民俗行事は伝統文化の一つとして、古くから伝わる時節に行われ、様々なメディアが情報提供する慣例的な取組みが常でありました。しかし、特に若年層では、その伝統文化の存在すら知らない、というのが現状です。これは、興味を引く手法での広報周知が足りないということや、目に触れる機会が少ないことが原因と考えられます。補助金等財政的支援とともに、広報活動の支援を行い、本市独自の伝統文化が継承されていくよう努めます。

事業 2-4-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化団体 補助事業 (文化団体 連合会・市民 音楽協会) 【再掲】 →1-1-③	事業概要	市内の文化芸術活動を担う団体への財政的な支援を行う。					継続
		補助金					新規
		団員募集周知					
	改善の 方向性	財政面での支援を維持しつつ、会員募集等の周知を実施し、加盟団体の若い世代の団員数が増えるよう支援します。					取組状況 (検討中)
	117 団体	124	126	128	128	128	指標 (文化団体 連合会加盟 団体数)
その他文化財 保護費 【再掲】 →2-4-①	62 団体	62	62	62	62	62	指標 (市民音楽 協会加盟 団体数)
	事業概要	指定文化財維持管理費、無形民俗文化財保存継承費、文化財保存事業費補助金の交付を行い、保存・継承の支援を行う。					継続
	改善の 方向性	補助金交付者の指定文化財を維持管理するうえでの課題を把握し、指定文化財を後世に伝えていくため支援策を計画します。					取組状況 (実施中)
青少年団体 活動支援事業 (青少年団体 活動助成金) 【再掲】 →2-3-①	88 件	89	90	91	92	93	指標 (指定文化 財管理数)
	事業概要	川口市青少年団体連絡協議会加盟の川口初午太鼓連絡協議会に対する助成金の交付を行う。					継続
	改善の 方向性	助成事業の効果測定の方法について、検討し、効果的な補助金の交付を目指します。					取組状況 (実施中)
	1 件	1	1	1	1	1	指標 (助成金 交付件数)

事業 2-4-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
民俗文化財等 調査事業	事業概要	市内に所在する民俗文化財や鑄物関係資料等の文化財資料を調査し保護する。					継続
	改善の 方向性	未整理の有形民俗文化財資料が多くあり、これに加えて新寄贈資料の調査整理を実施しています。民俗文化財の基礎調査として、今後、これを指定文化財等に結びつけられる調査を実施していきます。					取組状況 (実施中)
	1,191 件	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	指標 (民俗資料 整理数)
古文書資料 収集保管事業	事業概要	本市の歴史を解明する上で不可欠な古文書を調査・収集し、整理する。					継続
	改善の 方向性	本市に残された古文書の調査・収集、保管する古文書の管理は、今後も継続的に実施します。また、貴重な歴史史料をより良い状態で後世に伝える必要があり、施設、設備や補助を充実させます。					取組状況 (実施中)
	2 件	2	2	2	2	2	指標 (収集件数)
	131 点	20	20	20	20	20	指標 (収集点数)
古文書解読 事業	事業概要	本市に残された古文書を解読し、後世に記録として残すほか、それを活用した事業を実施する。					継続
	改善の 方向性	本市に残された古文書の解読を継続的に行い、その成果を市民に周知するため、さまざまな取り組みを実施します。					取組状況 (実施中)
	30 人	60	60	60	60	60	指標 (古文書講座 の参加者数)
	84 冊	第 2 集 の制作	第 2 集 の制作	第 2 集 の制作	販売開始 80	50	指標 (川口史料叢書 の販売冊数)



文化財センター

2-4-③ 顕彰制度の充実

本市では、市民に親しまれてきた「文化三賞」と称する「文化賞」「芸術奨励賞」「芸術功労賞」及び「青少年文化活動奨励賞」の4部門の文化芸術に係る功績を称える顕彰制度があります。

この「文化賞」の前身は、川口市の体育及び文化の振興に永年貢献された名誉市民である故大野元美市長の偉業をたたえるため、昭和58年に創設され、平成18年度に現在の名称となりました。その志は受継がれ、今の文化賞の礎となっています。長きに渡り表彰され続けてきた顕彰制度ですが、近年は、推薦状況から、周知の不足が考えられます。

また、青少年文化活動奨励賞は、各学校長の推薦により選考されますが、中学校の推薦は多いものの、小学校、高校の推薦が少なく、また、分野の偏りが見受けられます。

表彰は、その文化芸術活動に携わる人の誇りを生み、文化芸術活動者に対する尊敬の気持ちを生じさせるものであり、その活動のすそ野を広げる力を有していると考えられます。今後は、推薦への広報を強化し、市民の誇れる顕彰制度となるよう目指します。

事業 2-4-③		H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化三賞 表彰事業	事業概要	市民文化の向上・発展に貢献された方を対象とする「川口市文化賞」、「芸術功労賞」、「芸術奨励賞」の表彰を行うもので、被表彰者を公募、選考会議における候補者の選考を経て市長が決定し表彰を行う。						
								継続
	改善の方向性	文化賞、芸術奨励賞、芸術功労賞の推薦者数が伸び悩んでいることから、広報活動を工夫します。						取組状況 (実施中)
	4 人	3	3	4	4	5	指標 (文化賞候補数)	
	3 人	3	3	4	4	5	指標 (芸術奨励賞候補数)	
	6 人	5	5	6	6	7	指標 (芸術功労賞候補数)	
青少年 文化活動 奨励賞 表彰事業	事業概要	青少年の日頃の文化芸術活動において、他の模範となる者に対し「青少年文化活動奨励賞」の表彰を実施する。						
								継続
	改善の方向性	小学生や高校生の活動が推薦されるよう働きかけをします。						取組状況 (実施中)
	12 人	15	15	15	15	15	指標 (候補数)	

事業 2-4-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
川口市 表彰事業	事業概要	自治の振興と公益福祉の増進に貢献したかたを表彰する。教育、文化の振興に貢献し、その功績が特に優れたかたも表彰対象に含まれる。基本的に 65 歳以上のかたが対象となり、奨励ではなく、功労の意味合いを持つ。					
							継続
	改善の方向性	関係部局へ多くの対象者を推薦してもらえるよう促します。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)



川口市表彰
(リリア・音楽ホール)



文化三賞表彰
(フレンディア)

基本目標3 文化芸術に触れる環境の整備

施策5

教育活動及び生涯学習の場における文化芸術への支援

子どもや青少年の様々な文化芸術の体験や感動は、生涯にわたり、文化芸術を理解する基盤となります。また、青年期・中高年期において、文化芸術から受ける体験や感動は、心を豊かにします。したがって、多様な文化芸術に接する機会を拡げるとともに、環境の整備を図る必要性があります。こうしたことから、学校教育や生涯学習の場における芸術鑑賞、体験学習、芸術家派遣等文化芸術に触れる機会の充実に努めます。また、多くの市民が参加、鑑賞できるイベント等の充実に図り、市民主体の文化芸術活動や公民館等を拠点に展開される地域活動を支援します。

現状と課題

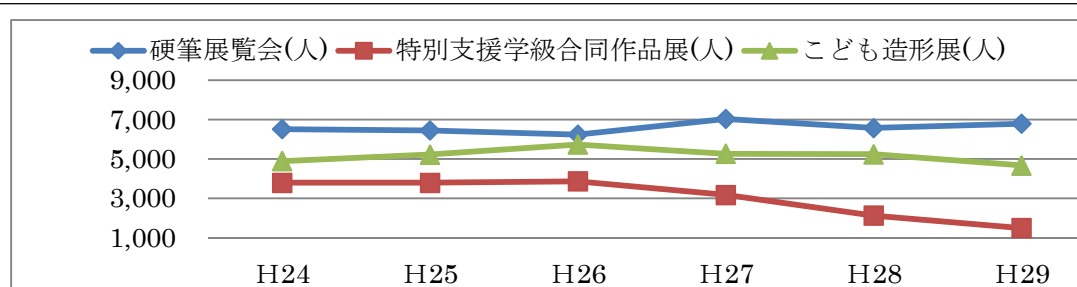
現在、各小学校では芸術鑑賞授業を実施し、文化芸術に触れる機会を提供しています。学校教育においては、一過性のものではなく継続的に文化芸術に触れられる環境の整備が求められます。また、働き世代にとって、ワークライフバランスが課題とされており、介護、育児、仕事等により自分に費やせる時間を設けることが出来ないのが現状です。専門的な知識を求める人がいる一方で、より体験感の高く、気軽に参加できるものを提供することも重要といえます。

実績の推移

文化芸術施設と教育機関の連携

文化芸術施設は、教育機関と連携し、様々な展示会を実施しています。例えば、アトリアにおいて小・中・高校硬筆展覧会を実施、リリア展示ホールにおいてこども造形展を実施、特別支援学級合同作品展はアトリア（平成27年度までリリア）で実施しています。会場によって展示方法等異なりますが、展示会の開催が児童生徒の文化芸術活動の励みとなるよう工夫が必要です。

(入場者数)	H24	H25	H26	H27	H28	H29
硬筆展覧会(人)	6,517	6,456	6,244	7,040	6,575	6,794
特別支援学級合同作品展(人)	3,800	3,800	3,869	3,182	2,130	1,500
こども造形展(人)	4,889	5,225	5,736	5,267	5,245	4,670





伊奈半十郎忠治像
(歴史自然資料館)



川口市小・中・高校
硬筆展覧会事業



川口市小・中・高校
書きぞめ展覧会事業

主な取組

3-5-① 文化芸術に関する学習機会の充実

文化芸術活動を通じて得た感動は、その時々心癒し、生きる力を与えてくれます。そして幼少期等に文化芸術が与える影響は、職業観や人生観を彩り豊かにする可能性もあります。また、年齢を重ねていく中で出会う文化芸術は、今までと違った視点を持つことができ、日々の生活を楽しませてくれます。このことから生涯における文化芸術活動には、多種多様な学びの場が必要であり、文化芸術に関する学習機会の充実を図ります。

事業 3-5-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
校外学習事業 (劇団演劇鑑賞)	事業概要	市立小学校5年生を対象とし、劇団四季・(財)舞台芸術センターによる劇団演劇鑑賞をすることから生まれる舞台の感動を通して道徳教育や情操教育に寄与するとともに、優れた演劇に触れるきっかけを与える。					継続
	改善の方向性	演劇の内容を変更しつつ、質の高い芸術に触れる機会を提供します。					取組状況 (実施中)
	4,859人	4,943	4,972	5,000	5,205	5,107	指標 (参加者数)
音楽鑑賞 教室支援 事業	事業概要	市立小学校6年生を対象とし、音楽に適した施設において、様々な邦楽やオーケストラの生の響きを体感させるため音楽鑑賞教室を実施する。					継続
	改善の方向性	音楽に最適な場所での本格的な音楽鑑賞を工夫して実施します。					取組状況 (実施中)
	4,950人	4,904	4,943	4,972	5,000	5,205	指標 (参加者数)
市民大学事業 (文化芸術 関連) 【再掲】 →2-3-④	事業概要	市内外の短大・大学等や公民館などの社会教育施設と協力し、文学・歴史・自然科学等の一般教養や専門的知識を学ぶ講義のほか、現代的課題等をテーマとした講座を開催する。					継続
	改善の方向性	講座の開催日時を工夫し、講座内容を充実させます。					取組状況 (実施中)
	52日	52	52	52	52	52	指標 (文化芸術関連講座 延べ開催日数)
	1,856人	1,860	1,860	1,860	1,860	1,860	指標 (文化芸術関連講座 延べ参加者数)

事業 3-5-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
盛人大学事業 【再掲】 →1-1-④ 2-3-④	事業概要	50歳以上のかたを対象に交流と地域活動の機会を提供する。社会教養コースにおいては、文化や芸術に親しみ、知識を活かすことで卒業後の社会貢献活動の活性化を図る。					
							継続
	改善の方向性	公開講座の実施や広報活動により市民への周知・浸透を図るとともに、社会貢献団体などと連携しながら講座内容の充実を図ります。					取組状況 (実施中)
	295人	300	300	300	300	300	指標 (受講者数)



市民大学



盛人大学

3-5-② 教育機関等との連携強化

学校教育の場における机上の勉強だけではなく、外部の専門家から得る刺激は児童・生徒にとって様々な効果を生み出します。各分野の専門の研究者が在籍する文化財センターやアートギャラリー、科学館等が学校教育の場と連携することにより、川口市の文化・芸術の土壌を育て多様な可能性の創出につながります。

また、市内の文化芸術に携わる方を講師として学校に紹介する「指導者活用事業」は地域に密着した文化芸術の振興であり、巧みな文化芸術に触れることが可能となり、継承にもつながります。

このように各施設において、学校との連携につながる多種多様な企画に取り組みます。

事業 3-5-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化財センター施設運営事業	事業概要	文化財資料を調査整理し、収蔵・活用を行うとともに、市民に文化財の大切さを周知するために、文化財に関する講座や企画展を開催する。					継続
	改善の方向性	郷土資料館と連携した企画展を実施し、市民が文化財に接する機会を増やします。					取組状況(実施中)
	4,903人	4,050	4,100	4,150	4,200	4,250	指標(来館者数)
郷土資料館施設運営事業	事業概要	市民に郷土の歴史・民俗・文化についての理解、文化財愛護の精神を深めてもらうとともに、収蔵資料を後世に伝える。					継続
	改善の方向性	企画展の充実、文化財マップの活用など、文化財センターと連携し実施します。					取組状況(実施中)
	3,874人	3,550	3,600	3,650	3,700	3,750	指標(来館者数)
歴史的建造物施設運営事業【再掲】→1-2-②	事業概要	国登録有形文化財である旧田中家住宅の保存・活用を行う。					継続
	改善の方向性	文化財的価値の理解と関心を高く引き出します。					取組状況(実施中)
	7,065人	6,500	7,000	7,500	8,200	9,000	指標(来館者数)
アートギャラリー教育機関連携事業	事業概要	市立小・中学校を対象にアーティスト等を派遣し、特別な授業を行うアーティスト・イン・スクール(AIS)を実施する。また、小学校の校外学習において本施設を利用してもらうことにより文化芸術に触れる機会の提供に資する。					継続
	改善の方向性	AISの事業の趣旨を理解してもらうため学校へのさらなる広報周知を充実します。					取組状況(実施中)
	1,367人	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	指標(AISの来場者数)

事業 3-5-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化芸術 指導者活用 事業 【再掲】 →1-1-③	事業概要	豊富な技芸のある文化芸術団体の指導者を学校に紹介し、部活動、授業等の教育活動一環として活用する。					継続
	改善の 方向性	学校との連携体制をつくり、紹介数を増やします。					取組状況 (実施中)
	1回/年	4	5	6	7	8	指標 (紹介数)
科学展示施設 運営事業 【再掲】 →1-1-①	事業概要	多くの市民が科学に触れ学びを深める場として、サイエンスショーや身近な素材を用いたものづくり教室、各種講座等を開催し、科学への興味関心を高める。					継続
	改善の 方向性	市内小中学校を対象に実施する科学出張教室や講師派遣の内容及び広報周知を充実させることにより、実施校数を増やし、参加者数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	104,399人	115,989	117,961	119,965	122,004	124,078	指標 (入場者・ 参加者数)
天文台施設 運営事業 【再掲】 →1-1-①	事業概要	天文台施設を利用し多くの市民に本物の天体を実際に観測・体験する機会を提供するため夜間観測会や太陽観測実習等を実施する。					継続
	改善の 方向性	市内小中学校等を対象に実施する出張観測会の内容及び広報周知を充実させることにより、実施校数を増やし、参加者数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	2,695人	2,742	2,789	2,836	2,885	2,934	指標 (参加者数)
プラネタリウム 施設運営事業 【再掲】 →1-1-①	事業概要	プラネタリウムの機能を活用した自然に近い星空を観ながら、星の探し方・動きの規則性・法則などを効果的に学び天文学の普及、科学全般に対する興味関心を高める。					継続
	改善の 方向性	多くの市民に天文の知識を深められる企画・立案を取り入れ、広報周知に努めると共に観覧者数の増加を図ります。					取組状況 (実施中)
	34,293人	37,209	37,842	38,485	39,139	39,804	指標 (観覧者数)



アーティスト・イン・スクール
(アートギャラリー)

3-5-③ 郷土学習の推進

郷土学習は、古くから伝わる文化を大切にし、後世に残そうとする意識を育て、さらには、地域への関心・愛着を生み出します。文化財センターや郷土資料館では、文化財資料の収集や整理作業を実施し、文化財として展示・活用できるよう進めています。平成30年に開館した歴史自然資料館には関東の地を広く開発した伊奈氏の功績等を紹介する展示室があり、地域発展に貢献した先人たちの活躍を深く知ってもらうことができます。

また、現在、宮崎市の小学校との交流事業において、両市と縁の深い歴史上の偉人「安井息軒」の業績を知ることにより、将来を担う人材の育成を目指しています。

これらの事業は継続して実施することで、郷土への愛着の醸成につながるものと考えます。川口市にはどのような人が住み、どのように生きてきたか、その足跡をたどることで、郷土をより深く身近に感じてもらえるよう努めます。それとともに、今後、盛り上がりを見せる、東京オリンピック・パラリンピック開催を契機とする地域独自の文化プログラムによる文化芸術の振興機運の醸成につなげていきます。

事業 3-5-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
文化財センター施設運営事業【再掲】→3-5-②	事業概要	文化財資料の調査・整理作業を実施し、収蔵・活用を行う。また、文化財に関する講座等の開催のほか、企画展を実施する。					継続
	改善の方向性	学校連携やその他文化財施設と連携を図り、来館者の増加に努めます。					取組状況(実施中)
	4,903人	4,050	4,100	4,150	4,200	4,250	指標(来館者数)
郷土資料館施設運営事業【再掲】→3-5-②	事業概要	文化財資料の収蔵及び、それらを活用した展示・学習会の開催を行う。					継続
	改善の方向性	企画展の内容のさらなる充実に努めます。文化財案内マップ等の活用により来館者の増加に努めます。					取組状況(実施中)
	3,874人	3,550	3,600	3,650	3,700	3,750	指標(来館者数)
文化交流使節団支援事業	事業概要	市立小学校6年生を対象とし、宮崎市への児童派遣及び宮崎市からの児童の受入れを行い、相互のまちに縁の深い儒学者に係る史跡等の見学及び地元児童との文化交流を行う。					継続
	改善の方向性	「安井息軒」は本市に縁の深い儒学者ですが、地域によっては認知度が低いことから、児童に対する効果的な学習方法や市民への周知方法について検討します。					取組状況(実施中)
	28人	30	30	30	30	30	指標(応募人数)
	20人	20	20	20	20	20	指標(参加者数)

事業 3-5-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
歴史自然資料館 活用事業 【再掲】 →2-3-①	事業概要	市内の文化芸術団体の方を講師とし、歴史自然資料館の特性や赤山の歴史・文化を活かした多彩なジャンルの講座・ワークショップ等を実施する。					継続
	方向性	多彩なジャンルに興味を持ってもらうため、実施内容を検討します。					取組状況 (検討中)
	-	3回	3	3	3	3	指標 (イベント 開催数)
歴史自然資料館 施設運営	事業概要	歴史自然資料館において、関東代官であった伊奈氏や安行の植木業の世界等をテーマに常設展を実施する。					継続
	方向性	伊奈氏や安行の植木について、多くのかたに興味を持ち来場していただくため周知方法について検討します。					取組状況 (検討中)
	-						指標 (-)



文化財マップ

歴史自然資料館
(イイナパーク川口内)



3-5-④ 鑑賞事業や文化芸術を身近に接する機会の充実

学校教育の場において、自らが作成した絵画や作品が鑑賞されるということは、公の場において、自らを高めるよい契機となり、今後の文化芸術活動を続けていく上での励みにつながります。

また、美術家協会選抜展は美術家協会会員の中で切磋琢磨し合い、その中から選ばれた会員の作品が展示されます。

このように、地元の身近な芸術家の素晴らしい作品を鑑賞する機会、そして、仲間と高め合う場として、作品展の実施を継続し、本市の文化芸術の発展に努めます。

事業 3-5-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
川口こども造形展事業	事業概要	川口総合文化センターにおいて市立幼・小・中・高校の幼児及び生徒の図工美術の作品を展示する。					
							継続
	改善の方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	83 校	81	81	81	81	81	指標 (参加学校 (園)数)
	5,245 人	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750	指標 (来場者数)
特別支援学級 合同作品展 事業 【再掲】 →1-1-④ 2-3-①	事業概要	市立の小・中学校に設置する特別支援学級在籍の児童生徒の学習の成果物を作品展示する。					
							継続
	改善の方向性	特別支援教育を受ける被支援者の芸術性の高い作品を広く公表し、その能力を引き出し、また、他者の接触を増やす機会を創出します。					取組状況 (実施中)
	27 校	31	31	31	31	31	指標 (参加学校数)
	2,130 人	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	指標 (来場者数)
川口の 図工美術 まなび展 事業	事業概要	市立小・中・高校の児童生徒の各種展覧会等の優秀作品を展示する。					
							継続
	改善の方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	59 校	60	60	60	60	60	指標 (参加学校数)
	1,409 人	2,050	2,050	2,050	2,050	2,050	指標 (来場者数)

事業 3-5-④	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
中学生の ART CLUB 展 事業	事業概要	市立中学校の美術部及びそれに類似する部活動の発表展示を実施。					
							継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	24 校	26	26	26	26	26	指標 (参加学校数)
	1,094 人	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	指標 (来場者数)
川口市 小・中・高校 硬筆展覧会 事業	事業概要	書写・書道（硬筆）に関する市立小・中・高校の児童生徒の各校優秀作品ならびに県展覧会出展・入賞作品を展示する。					
							継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	6,575 人	6,650	6,650	6,650	6,650	6,650	指標 (来場者数)
川口市 小・中・高校 書きぞめ 展覧会事業	事業概要	書写・書道（習字）に関する市立小・中・高校の児童生徒の各校優秀作品ならびに県展覧会出展・入賞作品を展示する。					
							継続
	改善の 方向性	充実した展示や広く適切な周知など実施方法について検討します。					取組状況 (実施中)
	4,637 人	4,700	4,700	4,700	4,700	4,700	指標 (来場者数)
美術家協会 選抜展事業	事業概要	美術家協会の各部門から選抜された会員の作品を展示する。					
							継続
	改善の 方向性	若い世代への手本と刺激となるよう展示作品の構成など工夫します。					取組状況 (実施中)
	1,213 人	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	指標 (来場者数)

川口の図工美術まなび展
(アートギャラリー)



基本目標3 文化芸術に触れる環境の整備

施策6

文化芸術施設の充実及び活用の推進

文化芸術の拠点であるリリアやアトリアなどにおいて、優れた文化芸術活動に親しむ機会を提供することで、文化芸術意識の向上を図ります。アートギャラリー・アトリア事業の更なる内容充実に努め、市民の文化芸術の鑑賞や創作体験の場を提供します。市民の幅広い文化芸術活動の活性化のため、ハード・ソフトの両面から施設の整備・充実に努め、発表の場としてより多くの方が利用できるよう取り組みます。

現状と課題

市民意識調査では、文化芸術活動の環境の充実に対する市民ニーズは、市政全体の中では低いものの、一定の数値を示しており、その中でも特に40代以下の若い世代から、文化芸術活動、そして生涯学習活動がしやすい環境を望む声が多い傾向にありました。

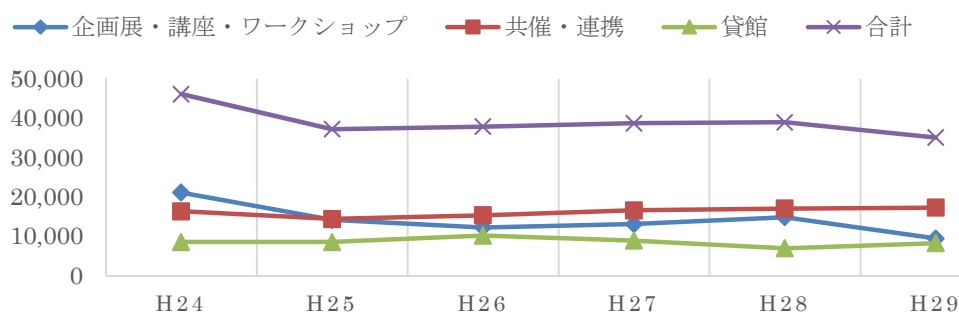
また、施設利用については、設備の老朽化への対応や予約のしやすさなどを求める声や発表の場を求める意見もありました。今後、新規施設及び既存施設の整備等について対策が求められます。

実績の推移

アートギャラリー事業運営・企画関係

アートギャラリーにおける共催展の入場者数は、連携強化により伸びているものの、自主企画による企画展が減少傾向にあります。市内外を問わず幅広く情報を発信できるよう広報手段の見直しを検討していく必要があります。

	H24	H25	H26	H27	H28	H29
企画展・講座・ワークショップ(人)	21,104	14,168	12,281	13,130	14,850	9,472
共催・連携(人)	16,385	14,408	15,336	16,596	17,075	17,302
貸館(人)	8,583	8,589	10,215	8,949	7,004	8,284
合計(人)	46,072	37,165	37,832	38,675	38,929	35,058



主な取組

3-6-① 文化芸術の拠点であるリリア、アトリア等の整備・充実

本市には、文化芸術の拠点として川口総合文化センター・リリア、アートギャラリー・アトリアがあります。これらは地域に根ざした文化活動の拠点として、その役目を担っており、日頃の練習や発表、交流の場として活用されています。

しかし、施設の利用者からは、音や色の芸術性を追求していく中で、その時勢に応じた最先端の設備や発表・練習の場の充実が求められることもしばしばあります。耐用年数や今後の施設の改修方針に考慮しながらも研究を続け、施設の整備・充実に努めていくことが重要です。

また、より長く快適な利用が可能になるよう、将来的な視点での施設の長寿命化計画を策定し、修繕・改修等を実施していく必要があります。

これらの課題に取り組むとともに、本市の文化芸術発展の一拠点として、美術館建設について検討を進めます。

事業 3-6-①	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
アート ギャラリー 施設運営	事業概要	市立アートギャラリーの施設及び設備の改修等を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の改修、維持補修を実施します。					取組状況 (実施中)
	94.9%	96.4	96.9	97.4	97.9	98.4	指標 (貸館利用率)
川口総合 文化センター 施設管理	事業概要	川口総合文化センターの施設及び設備の改修等を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の維持補修を実施します。					取組状況 (実施中)
	77.2%	87.0	90.0	93.0	96.0	100	指標 (貸館利用率)

アートギャラリー・アトリア



3-6-② 文化芸術関連施設の適切な管理・運営

それぞれの特徴を有する文化施設・社会教育施設は、利用者のニーズが多様化する中、きめ細かな対応が求められています。所有する機能を最大限に生かした上での運営の見直し・改善に加え、施設の新たな魅力につなげていく取組は今後、ますます必要になります。

また、市民から愛され、長く活用される施設であり続けるため、利用者のニーズや時勢に応じた、利用料金の改定や受付の方法等、事業内容の見直しを研究するほか、施設の維持補修を含めた整備に努めていきます。

事業 3-6-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
アート ギャラリー 施設管理 (事業運営)	事業概要	市立アートギャラリーの管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の管理運営を実施します。					取組状況 (実施中)
	94.9%	96.4	96.9	97.4	97.9	98.4	指標 (貸館利用率)
川口総合 文化センター 指定管理	事業概要	川口総合文化センターの管理運営を指定管理者により行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び文化芸術活動が行えるよう、適切な施設の管理運営を行います。					取組状況 (実施中)
	77.2%	87.0	90.0	93.0	96.0	100	指標 (貸館利用率)
文化財センター 施設運営事業 【再掲】 →3-5-② 3-5-③	事業概要	市立文化財センターの管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び創造活動するため施設の管理運営を実施します。					取組状況 (実施中)
	4,903人	4,050	4,100	4,150	4,200	4,250	指標 (来館者数)
郷土資料館 施設運営事業 【再掲】 →3-5-② 3-5-③	事業概要	市立郷土資料館の管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に鑑賞及び文化活動が行えるよう施設の管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
	3,874人	3,550	3,600	3,650	3,700	3,750	指標 (来館者数)
歴史的建造物 施設運営事業 【再掲】 →1-2-② 3-5-②	事業概要	国登録有形文化財である旧田中家住宅の保存・活用を行う。					継続
	改善の 方向性	文化芸術活動の発表の場としての活用を通じ、文化財的価値の理解と関心を高く引き出します。					取組状況 (実施中)
	7,065人	6,500	7,000	7,500	8,200	9,000	指標 (来館者数)
歴史自然資料館 施設運営 【再掲】 →3-5-③	事業概要	歴史自然資料館の管理運営を行う。(平成30年より開館)					継続
	方向性	利用者が快適に鑑賞及び文化活動が行えるよう施設の管理運営に努めます。					取組状況 (検討中)
	-						指標 (-)

事業 3-6-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
公民館 施設運営 【再掲】 →1-1-⑤	事業概要	住民への学習機会の提供及び新たな交流の場を提供する。					継続
	改善の 方向性	学習ニーズが多様化しているため、事業内容の充実・改修等を検討します。					取組状況 (実施中)
	860 件	830	830	830	830	830	指標 (年間教室件数)
図書館 施設運営	事業概要	市民の知的自由を支え、知的要求に応えるためのサービスを提供することで、生涯学習を支援する。					継続
	改善の 方向性	市民の生涯学習へのニーズが多様化しているなか、図書館機能を生かした事業を推進し、施設、設備や補助を充実していきます。					取組状況 (実施中)
	1,800,432 人	1,847,461	1,838,039	-	-	-	指標 (入館者数)
鳩ヶ谷駅 市民センター 【再掲】 →1-1-⑤	事業概要	文化芸術活動の促進及び地域経済の振興を目的とした貸館業務を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に文化芸術活動が行えるよう施設の管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
	24,675 人	24,000	24,500	25,000	25,000	25,000	指標 (入館者数)
ふれあい プラザさくら 【再掲】 →1-1-⑤	事業概要	文化の向上等を目的とした貸館業務を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に施設の利用ができるよう管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
	42,523 人	42,000	42,500	43,000	43,000	43,000	指標 (入館者数)
芝市民ホール 【再掲】 →1-1-⑤	事業概要	芝市民ホールの管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に文化芸術活動が行えるよう施設の管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
	35,195 人						指標 (利用者数)
芝支所 展示コーナー 【再掲】 →1-1-⑤	事業概要	芝支所内の展示コーナーの管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に利用できる文化芸術活動の発表の場として施設の管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)
科学展示施設 運営事業 【再掲】 →1-1-① 3-5-②	事業概要	科学展示施設の管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に科学に触れ学びを深める場として活用できるよう、施設の管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
	104,399 人	115,989	117,961	119,965	122,004	124,078	指標 (入場者・参加者数)
天文台施設 運営事業 【再掲】 →1-1-① 3-5-②	事業概要	天文台施設の管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者に本物の天体を実際に観測・体験する機会を提供するため、施設の管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
	2,695 人	2,742	2,789	2,836	2,885	2,934	指標 (参加者数)

第4章 文化芸術推進の各施策と取組

事業 3-6-②	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
プラネタリウム 施設運営事業 【再掲】 →1-1-① 3-5-②	事業概要	プラネタリウム施設の管理運営を行う。					継続
	改善の 方向性	利用者が天文の知識を深められる場となるよう、施設の管理運営に努めます。					取組状況 (実施中)
	34,293 人	37,209	37,842	38,485	39,139	39,804	指標 (観覧者数)



文化財センター分館
郷土資料館

科学館



3-6-③ 生涯学習活動の拠点である公民館等の整備・充実

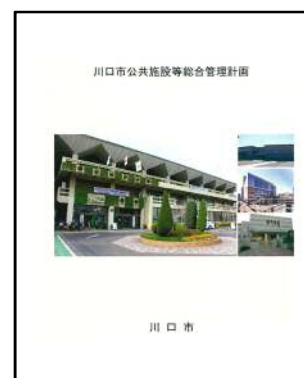
文化芸術活動を行う多くの人は、生涯学習活動の拠点である公民館等の社会教育施設を活動場所として日頃の練習等を行っています。これらの施設は竣工から年月を経ている場所もあり、「文化事業参加者・利用者アンケート」の自由記述欄では、施設修繕に関する要望がみられます。本市では、川口市公共施設等総合管理計画の基本方針に基づき、耐震補強の実施、損傷・老朽箇所の修繕や設備改修等を実施しており、今後も計画的に進めていきます。

また、施設の申込予約は、より手軽で使いやすく、わかりやすいことが求められます。既存のシステムをより利用者のニーズに即した形に近づけるよう研究し、利便性の向上に努めます。

事業 3-6-③	H28	H31	H32	H33	H34	H35	
公民館等 施設整備 (文化会館等含む)	事業概要	安全で快適な生涯学習の場を提供するため、施設の老朽化に対応し、必要な点検及び改修工事を行う。					継続
	改善の 方向性	各種設備が老朽化しているため、点検及び改修を順次実施していきます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)
公民館等 施設整備 (施設予約 システム)	事業概要	キオスク端末・携帯電話・パソコン等から社会教育施設の予約を可能にし、利用者の利便性向上を図る。					継続
	改善の 方向性	利用者が快適に使用できるよう、掲載情報の更新や操作環境の改善に努めます。					取組状況 (実施中)
							指標 (-)



公民館





平成 25 年度特別展覧会
成川美術館所蔵至宝の日本画展

平成 20 年度特別展覧会
田原家コレクション巡回展



平成 20 年度特別展覧会
我がまちかわぐち・再発見展